

夏休み特別貸出、始めます！

貸出期間：7月11日(月)～7月29日(金)

返却期限日：8月29日(月)～9月9日(金)
(貸出日の7週間後。7/25以降は9/9)

貸出冊数：20冊まで

夏休み中の開館日
(変更する場合があります)

7月25日(月)～29日(金)

8月1日(月)
8月22日(月)
8月23日(火)
8月25日(木)
8月26日(金)

図書委員のオススメ その1

(これらの本は、「図書委員のオススメコーナー」にあります)

オルタネート 加藤シゲアキ 著 新潮社



新見春は勝利部の部長なのだが、料理をする場面はものすごく手が込んでいます。料理好きの方にも是非読んでみてほしい。また高校生の物語であるため親近感がある。そのため、それぞれの登場人物の気持ちを読み取りやすかった。読み進めていくと、どんどん続きが気になってページをめくる手が止まらなかった。とても読みやすい本だった。

空に向かってかっ飛ばせ！ 筒香嘉智 著 文藝春秋

野球をする子供たちの数は、少子化よりも激しい勢いで減っている、それはなぜか？ 筆者は、「甲子園で勝つことを究極の目標にした『勝利至上主義』が、子供たちへの間違っただ指導を招き、たくさんの有望選手が将来の道を絶たれている。」と書いた。それを読んで自分はとても興味深く感じたし、野球好きの方を中心にぜひ読んで欲しいと感じました。



探偵はもう、死んでいる。(MF文庫J) 二語十 著 KADOKAWA

物語の始まりは、地上遥か1万メートル上空の飛行機の中。

「お客様の前に、探偵の方はいらっしゃいませんか？」

聞こえてくるのは、そんな、上空1万メートルの旅客機の中で聞くととは思えないアナウンス。聞き間違い？むしろ聞き間違いであってほしい、とさえ思っていた「巻き込まれ体質」の君塚君彦。

そのとき、

「はい、私は探偵です」

隣に座っていた銀髪碧眼の女性が手を挙げた。そして君塚に、

「君、私の助手になってよ」。

こうして冒険は上空1万メートルで始まり、突如終わりを迎える、探偵の死によって。

だが、物語は終わらない。

むしろ、ここから始まる。

そう、探偵はもう死んでいる。

SF、異能力、ミステリー、事件…など、闇鍋とも言える内容です。ぜひ1度手に取ってみてください。



夏川 草介 Shukawa Kusosuke



神様のカルテ

神様のカルテ 夏川草介 著 小学館

主人公「^{くりはらいちと}栗原一止」。を中心に進んでいく医療物語です。

「栗原一止」は、地方の「本庄病院」に勤める医師であり、夏目漱石を敬愛する人である。少し話し方は、古めかしい変わった人だと思ふ。

読みどころは、医師としてだけでなく患者に寄り添う人としての温かさがあるシーンや、「ハルさん」との会話だと思ひます。

他にもいろいろと伝えたいことはありますが、続きはぜひ、借りて、読んでみてください。

流浪の月 凧良ゆう 著 東京創元社

「せっかくの善意をわたしは捨てていく。

そんなものでは、わたしはかけらも救われない。」

この言葉の意味を考えながら読んでいったとき、最初は、ひどいと思ひましたが、本当は素敵な意味が含まれていると分かりました。

少し異常な少女と青年の暮らし、あなたはこの本を読んだとき何を思ひますか？



旅猫リポート



旅猫リポート 有川浩 著 文藝春秋
(有川ひろ)

動物が好きの人に特におすすめ！

元野良猫の十十は交通事故にあったところを心優しい青年・サトルに助けられ、5年間飼い猫として幸せに暮らしてきた。だが、とある事情で十十を手放さなくてはならなくなったサトルは、新しい飼い主を探すため、十十と親友や初恋の人など大切な人たちを訪れる旅に出る。